

近未来コンクリート研究会 第4回C協議会 会議メモ

1. 日時：2019年3月11日（月）10：00～12：00

2. 場所：福德技研ビル3階会議室

3. 議事内容

(1) 先回会議（第3回協議会）の議事確認

竹田主査より前回の会議メモの紹介を行い、確認を行った。

(2) 第4回協議会の議論

配布資料に従い、初期ひび割れの原因、対策、今後の活動について議論を行った。

①原因

- ・水セメント比規定から単位セメント量が増大することがある。（フーチングで $f' c = 30\text{N/mm}^2$ の設計がある。強度が大きすぎる。）
- ・無筋コンクリート構造物にひび割れ幅の規定は必要か疑問
- ・ひび割れが発生した場合のフィードバックが出来ていない。

②対策

- ・カルバートなどに対するマスコン、乾燥収縮に対するひび割れ制御筋をコンサルで考慮する必要がある。
- ・セメント量低減のためのフライアッシュ適用は有効
⇒発注者の意識向上が必要（フライアッシュ指定の発注など）
生コン側からの提案もある（高知での事例： $C=307\text{kg/m}^3$ を $C=250\text{kg/m}^3$ 、 $Fa=20\text{kg/m}^3$ に変更しセメント量低減）
発注者，コンサル，受注者にいる協議の場が必要
- ・適切な施工が基本

③今後の活動案

a) 発注者への意識向上の働きかけ

- ・関係者が協議する場を作る（広島県：大学＋発注者＋コンサル＋受注者＋材料メーカー）
- ・県や電力関係の方の参加
- ・広島県主催での検討会を働きかける

b) 広島場版チェックリストの作成

- ・山口県の事例を調査する。担当者をフォーラムなどに招聘して状況を伺う
- ・「べからず集」などの作成

③雑誌への活動報告の掲載

他の協議会と調整し、時期を検討した上で、日経コンストラクション、セメント・コンクリート誌などへ掲載する。

④石灰石骨材、フライアッシュの利用促進

中国技術事務所へのヒアリングなど

以上の議論があり、4/19の総会にて、本年度の活動内容と来年度の活動案の報告を行う。

4. 次回協議会について

次回C協議会は、6月24日（月）15:00～17:00を予定。⇒同日13:00～15:00に変更。

以上